

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 1 号機における定期安全レビュー（第 2 回）の実施について

平成 24 年 7 月 5 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 1 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第 7 条の 5 第 1 項」にもとづき、定期安全レビューを実施いたしましたのでお知らせいたします。

定期安全レビューは、最新の原子力発電所における保安活動と同水準の保安活動を維持しつつ安全運転を継続できる見通しを得ることを目的に、10 年を超えない期間ごとに、原子力発電所における保安活動の実施状況の評価および保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価等を行い、原子力発電所の安全性・信頼性を総合的に評価するものです。

同号機における定期安全レビューは、第 1 回（平成 14 年 7 月 9 日お知らせ済み）の実施以降、今回が 2 回目となります。

保安活動の実施状況の評価、保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価を行った結果、当所 1 号機は、安全性・信頼性の維持・向上に適切に取り組んできているものと考えております。

今後も自主保安活動を継続し、高い水準の安全性・信頼性の確保に努めてまいります。

また、当社福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、浸水防止対策の強化、電源機能の強化、注水・冷却機能の強化、水素爆発の防止、計測・監視機能の強化、緊急時体制の強化等を実施してきており、より一層の信頼性向上のための津波対策を引き続き取り組んでまいります。

以 上

柏崎刈羽原子力発電所 1号機定期安全レビュー（第2回）

報告書の要旨

1 柏崎刈羽原子力発電所 1号機について

柏崎刈羽原子力発電所 1号機は、定格出力110万キロワットの沸騰水型軽水炉です。

運転実績は、以下のとおりです。

	1号機
営業運転開始	昭和60年 9月
累積発電電力量（億kWh）	約1,616
計画外停止回数（回／年）	0.16
累計設備利用率（％）	約65.6

（平成23年 3月31日現在）

2 評価対象期間

平成13年 4月から平成23年 3月末

3 保安活動の実施状況の評価

品質保証活動、運転管理、保守管理、燃料管理、放射線管理および環境モニタリング、放射性廃棄物管理、事故・故障等発生時の対応および緊急時の措置、安全文化の醸成活動について、各保安活動の改善状況を評価しました。

この結果、以下のことから改善する仕組みが妥当であると判断しました。

- ・ 自主的に実施した改善事項が継続していること。
- ・ 指摘事項等に対する改善活動が、実施済みであること、もしくは実施中あるいは計画済みであること。
- ・ 指摘事項等に対する改善活動が継続していること。
- ・ 同様な指摘事項等が再発していないこと、もしくは再発しているが更なる改善が図られていること。
- ・ 運転実績指標のトレンドに劣化傾向がないこと。

評価期間中に改善を実施した主な内容は以下のとおりです。

[品質保証活動]

- ・不適合管理委員会の設置 等

[運転管理]

- ・新潟県中越沖地震に対する運転操作手順書類の改善
- ・シミュレータを使用した事前訓練等によるヒューマンエラー防止対応 等

[保守管理]

- ・新潟県中越沖地震後の設備健全性に係る点検・評価
- ・耐震安全性評価及び耐震強化工事
- ・設備診断技術の拡充（保全の最適化） 等

[燃料管理]

- ・漏えい燃料発生率低減と発生時の対応 等

[放射線管理および環境モニタリング]

- ・線量低減タスク設置による発電所線量低減対策の促進 等

[放射性廃棄物管理]

- ・総合廃棄物タスク設置による廃棄物の課題検討
- ・分別等による廃棄物低減の取り組み 等

[事故・故障等発生時の対応および緊急時の措置]

- ・免震重要棟の設置
- ・災害情報システムの導入 等

[安全文化の醸成活動]

- ・企業倫理遵守の徹底・企業風土改革に向けた取り組み
- ・安全文化の醸成・定着に向けた取り組み 等

4 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

保安活動への最新の技術的知見（安全研究成果、国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓、技術開発成果、耐震新知見情報）の反映状況の評価の結果、原子炉施設の安全性を確保する上で重要な設備等について、前回の定期安全レビュー以降も最新の技術的知見を適切に反映している、反映が実施中である、もしくは反映を計画していることから安全性・信頼性の維持・向上を図っていると判断しました。

また、当社福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、浸水防止対策の強化、電源機能の強化、注水・冷却機能の強化、水素爆発の防止、計測・監視機能の強化、緊急時体制の強化等を実施してきており、より一層の信頼性向上のための津波対策を引き続き実施してまいります。

今後とも1号機の安全性・信頼性に関する重要な技術的知見が得られた際は、これら技術的知見を反映すべく継続して実施してまいります。

最新の技術的知見の主な反映事項は以下のとおりです。

- ・ 非常用炉心冷却系統ストレーナ閉塞事象の対応
- ・ 原子炉停止期間中の制御棒引き抜け事象の対応
- ・ 新潟県中越沖地震を踏まえた対応
- ・ 東北地方太平洋沖地震を踏まえた対応 等

以 上